

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!

--前節の群馬戦を勝利で飾り、3連戦が終わりました。

「我々が見せた内容からすれば、1つ勝ったとはいえ、結果が伴わなかった3連戦とも言えるでしょう。最初の2試合はそれぞれ3失点をしましたし、失点の仕方の多くはクロスからでした。クロスからの失点には集中力や相手との距離が大きく関わっています。シーズンが終わるまで、この教訓は活かしていかなければなりません」

--3連戦を終えて、2日間のオフを挟み、チーム全体のコンディションはいかがでしょう。

「オフ明け初日は非常に集中したトレーニングをできましたが、何人かの選手は疲労を抱えている状況です。ただもちろん疲労はありますが、それに打ち勝っていく強い精神力が必要です。強い精神力を持っていれば、その疲労が半減することも事実です。最後の1メートル、50cm、相手よりも一歩先に足を踏み出せるか。それはメンタリティーがあればできることです。体力が残っていないと思っていっても、仮にライオンや獰猛な動物に襲われたら、猛ダッシュで逃げるでしょう。最後まであきらめない、最後まで出し切ることはスポーツの世界だけではなく、その後の人生においても大事なことですから、選手たちには求めていると思います」

--長崎の印象は？

「個の能力はJ1レベルですし、選手層も厚いです。我々がそういった相手を上回っていくためにはコレクティブに戦うことが重要です。前回対戦を振り返ると、我々もスペシャルなゲームをできたわけではないですが、相手の良さを出させない、相手の力を無力化しながら戦えていました。ただ結果は負けていました。この試合で大事なことはいかに危険なプレーを増やせるかです。相手の個を光らせない、無力化させることはやっていけないといけません。誰か1人でも気の抜けたプレーをすれば一気に危険に晒されます。この試合は一瞬たりとも、全員が隙を見せられない試合でもあります」

--今節はホームゲームです。ファン、サポーターの皆様へメッセージをお願いいたします。

「直近のホーム2試合は勝利を届けられずに、試合の中で2つの顔を見せてしまいました。次の長崎戦では全員で一体感を持って戦い、全力で自分たちの良さを出すゲームにするためにも、どうか皆様の力を貸して下さい。スタジアムに詰めかけて下さった皆様の数その倍の応援を感じられるぐらいの雰囲気を作っていただけると、もっと選手たちの力になりますので、よろしくお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2022
シーズンシート

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

